

< 程グローバル推進本部長からの挨拶 >

10月から学部「ICT グローバルプログラム・全英語コース」の留学生が入学します。これにより本学のグローバル化も新しいステージを迎えます。今回の SGU ニュース 瓦版・特集号では、10月に入学予定の留学生に関する情報、留学生への支援体制やその準備状況を教職員の皆様に報告します。また、全英語コースの残された課題とその解決に向けてのアプローチを示し、学部留学生のための授業科目及び担当に関する基本的な考え方を明確にしていきたいと思ひます。皆様のご理解とご支援をよろしくお願ひいたします。

< 学部留学生の受入れについて >

10月から学部1年生に4名、3年次編入生に7名の留学生が本学に入学する予定です。その内訳は、学部1年生として、一般選抜に合格した2名、及び特別選抜(中国)に合格した2名の計4名。また、3年次編入生として、ベトナム・ハノイ工科大学から4名、中国・大連東軟信息学院から3名の計7名です。

< 学部留学生の受入れのための支援体制 >

留学生受入れの準備については、今年の春から SGU 部会 II のワーキンググループにおいて、学生支援係、総務予算課、SGU 推進室、国際戦略室、外国人相談員、就学支援室などの留学生支援に関連する各部署が集まり、検討を進めてきました。留学生が来日する事前の案内、到着後のガイダンス、授業開始後の様々な支援をはじめ、バディプログラム策定及びその募集や学生寮の二人部屋化実施などの準備も着実に進めてきました。また、3年次編入生については入学後の研究室への配属、一年次入学生についてはカリキュラムや生活に関するアドバイザーを配置できるように準備を進めていきます。

< 全英語コースの残された課題とその解決に向けてのアプローチ >

- ICT グローバルプログラム全英語コースの留学生には、卒業に必要な128単位をすべて英語によって取得できる環境を構築しなければなりません。そのため、各科目に少なくとも1クラスは英語で教える授業を用意することを目標としています。
- 全英語コースの残された課題とその解決に向けてアプローチとして、以下の点が挙げられます。
 - 既存の英語クラス(現在英語によって行われているクラス)がある場合には、それらを留学生に受講してもらうことになります。この点では、本学の特色でもある多数の外国人教員による英語による授業の強みを最大限活かすことができます。また、新たに授業を配置する必要がないので教員に新たな授業負担もありません。しかし、考慮すべき点として、演習室のキャパシティの問題、他の学生との基礎知識や先修科目の違いなどが挙げられます。
 - 既存の英語クラスがない場合には、新たに英語によるクラスを開設する必要があります。この場合、科目毎の担当教員調整、新たな教員の配置、教室の割り当てや時間割設定なども考慮しなければなりません。しかし、この新しい英語による講義により、少人数によるケアの行き届いたレベルの高い授業が可能となります。また、これまで授業を受け持つ機会が少なかった外国人教員にとっては、授業を持つ絶好の機会になるかもしれません。

< 学部留学生のための授業科目及び担当に関する基本的な考え方 >

1年次に入学する留学生には、これまで日本語で教えているクラスを英語によって教える必要があります。したがって、通常の日本人の学生のクラスとは別に、新たに英語によるクラスを開設することになります。

3年次に編入する留学生には、基本的に現在開講している英語による3年生の科目(一部4年生の科目)を受講してもらうことになります。したがって、該当するクラスには通常の日本人学生に加え最大7名の留学生が履修する可能性があることをご留意ください。なお、大連東軟信息学院とハノイ工科大学からの編入生とでは、単位互換ができる科目数が異なるため、一部の科目では、ハノイ工科大学からの編入生は取得する必要がないものがあり、その場合は大連東軟信息学院からの3名の編入生のみが追加で履修することになります。

< 当面半年の目標 >

新しいプログラムですので走りながら決めていくしかないと思ひています。

当面10月からの半年間の情報について以下のリンクを参照。

- 1年次に入学する留学生のために開講する科目等

<http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T1.pdf>

- 3年次に編入する留学生のために開講する科目等

<http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T2.pdf>

については、開講科目、担当教員および時間割を決めていますので、教員の皆さんは、各自、学内専用サイトで今一度確認してください。

来年4月からの科目に関するカリキュラム案については、現時点で、担当者等が、まだ、決まっていないものが含まれており、これから調整していくなどの課題が残っています。

<http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T3.pdf>

< 関連する情報へのリンク >

- 2016年10月からの第3第4学期に開講される科目と時間割(1年用)

Q3: <http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T4-1.pdf>

Q4: <http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T4-2.pdf>

- 2016年10月からの第3第4学期に開講される科目と時間割(3年用)。ただし1部の3年生は4年生の講義を受講することがある。

Q3: <http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T5-1.pdf>

Q4: <http://web-int.u-aizu.ac.jp/misc/squ-pm/T5-2.pdf>

ご自身が担当する科目と関連があるか必ず学内専用サイトで確認して下さい。ご不明の点や間違いに気づいた場合は、sgu-office@u-aizu.ac.jpまでご連絡ください。

< ニュース >

- 8月10日、Aizu Geek Dojo のキックオフセレモニーが盛大に行われました。
- 平成28年度「米国シリコンバレーインターンシッププログラム」は、8月23日から9月6日までの15日間の予定で実施されています。それに先立ち、8月20日に今回参加する9名の研修生の壮行会が行われました。

< インフォメーション >

オーナーズプログラムの核となる2科目の授業を10月から試行的開始します。学部1・2年生で、積極的で、学習意欲が高く、潜在力のあると思われる学生を10名程度募集します。

クラス担任や1年生2年生の授業を担当する教員の皆さんで該当する学生の心当たりがある方は是非推薦してください(但し、各教員3名までとします)。名前と番号と推薦コメントをお教えいただければ SGU 推進室より学生に連絡し、参加の意思を確認させていただきます。申請書類、教員のコメントと面接等によって選考します。 -